



第175号
令和7年6月23日
能代市教育委員会
学校教育課
創刊
昭和42年10月10日
題字 元能代市長
鎌田 宏

巻頭言



教職員の大量退職が進んでいる現在、あらゆる機会に「今のうちに継承を」と言われ続けてきましたし、言い続けています。

初任は大館市の小学校、きめ細かい指導方法と学級経営を、学年主任や先輩から徹底的に指導されました。地元に戻り中学校勤務がスタート、専門性を生かした指導方法と生徒指導等を、教科部体制や学年部体制で、背中で模範を示していたできました。行政機関では、特別支援教育の専門の方と出会い、自分の未熟さを痛感し、特別支援について多くのことを学ぶことができました。振り返ると、違う職場で経験したことが、様々な視点をもつことにつながったと感じます。それらについて、自分

継承、真つ最中

能代市立能代第一中学校

校長 田崎 雅則

が感じてきたことを、活字や会話で伝える機会を見付けて継承しています。

さて、5月の週末は天気が芳しくなく、我が家ではずっと「日和上げ」が続きました。本校の若者に「日和上げ」って知っているか聞いたところ、音の響きで「〇〇揚げ」のお菓子をイメージしたそうです。その時に「はげき(脛巾)履き、はげき脱ぎ」も話題になりました。昔は都合のよい理由を付けて「飲みニケーション」が盛んに行われ、その場では常に継承があったと記憶しています。当時、私の聞き慣れない言葉の一つに「じょうせき」がありました。どのような意味か、ご存じでしょうか。言葉の継承も頑張ります！

能代市の授業づくり 〜本年度の重点〜

向能代小学校

教頭 滝沢 治

問いが広がる
授業を目指して

本校では、問いが広がる授業を目指して「向小授業スタイル」を定め、授業改善に取り組んでいる。その中で、考えを広げ、深める場として「シアンタイム」を設けている。

今年1月、銭谷美咲教諭が1年生の道徳授業を行った。導入では、普段の生活のエピソードから課題を設



定したことで、自分事となり、その後の主体的な活動につながった。話し合いでは、教師の「うずまき」の掛け声だけで、さっと丸形の机配置に変わり、子ども達がお互いの顔を見ながら発言をつなげて話し合うことができた。また、課題について考え、自己を振り返る「シアンタイム」では、「どうしてかというところ」「そのために」という書き出しの型が提示され、1年生でも取り組みやすく、考えを深められる工夫があった。今後もシアンタイムを充実させ、問いが広がる深い学びの実現に努めたい。

輝きの場面



6年生が1年生に
読み聞かせをしている場面
第四小学校

